

たねニュース

令和元年(2019年)11月1日発行(隔月1回1日発行)

- 2019年度産サイレージの傾向について
- 今さら聞けない牛のあれこれ
-乾乳管理について-
- 「全日畜シンポジウム in 北海道スマート畜産への期待」のご紹介
- 「新商品のご案内」
雪印メグミルクのお料理レシピ

今年一年を振り返り

日頃より弊社製・商品をご愛顧いただき、心から厚くお礼申し上げます。

2018年弊社による「種苗法違反、品種偽装、隠ぺい事件」につきまして、お客様、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけいたしましたこと改めて深くお詫び申し上げます。二度と同じことが繰り返されない様に、引き続き再発防止策の完全実施を全社一丸となって取り組み、お客様、関係者の皆様の信頼回復に努めて参ります。

平成31年、そして新たな年号となった令和元年を振り返りますと、近年発生の異常気象の影響と思われる、大雨や大型台風など自然災害の多い年でもありました。特に9月に発生の台風15号では千葉県を中心に多くの方が被害を受け、水道や電気などライフラインの遮断で不自由な生活を余儀なくされたとも聞いております。改めて被害に遭われました方々に心からお見舞い申し上げます。

酪農畜産関係では日米貿易協定が年明けにも発効となるとの事で、TPP11、日欧EPA、また新たな日米貿易協定などまさに大きな時代のうねりの中に身を投じる状況に置かれることになり、多少なりとも今後の不安を感じていらっしゃる方も多いものと思われます。また、豚コレラの発生も終息がなかなか見えない状況で、国の対策としてワクチン接種を行う事が決まり、一日でも早い終息

を願うばかりです。そのようなニュースの中、明るい話題もありました。朝ドラで放送の「なつぞら」は北海道の十勝を舞台に酪農の開拓者魂がクローズアップされ、改めて酪農の素晴らしさ、牛飼いの良さが生き生きと表現されていました。スポーツ界ではラグビーのワールドカップが日本で開催され大きな盛り上がりを見せ、チーム全体が1つの目標に向かい、「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」の精神で、ボールをパスする姿などに大きな勇気をもらいました。

道内の酪農業界では粗飼料の確保も順調に進んだとの話も聞き、デントコーンも例年並みの収量が確保出来そうだと聞いて一安心しております。

今後も本誌「雪たねニュース」を通して皆様のお役に立てる技術情報や旬な話題、製・商品のご紹介などタイムリーなニュースが提供出来るよう日夜研鑽し努力と信頼回復に向けて邁進したいと考えておりますので、引き続きご愛顧いただけますようお願い申し上げます。今年も残り少なくなりましたが、令和2年の輝かしい新春をご家族ととも迎えられます事を心からご祈願申し上げます。

雪印種苗株式会社
北海道統括支店長 丸田 卓也